

コ 5 ク 9 ロー 6 サン 3 ハート通信

VOL. 90

竹原運輸株式会社

発行日 令和1年7月15日

★事務所スタッフからの一言



皆様、いつもお世話になりありがとうございます。日頃は格別なるご厚意を賜り、心より御礼を申し上げます。

「安全第一を考える」

「人間として成長する」

弊社では安全第一や利益だけでなく、お客様の役に立つ人間になるよう、人間として成長することが、会社のもう一つのテーマとして経営しています。ただ、この利益も成長も目的ではなく、手段だと考えています。

目的は、みんなが幸せになること。

いい会社とは、社員や関わるすべての人が幸せである。

いい経営とは、社員や関わるすべての人を幸せにする会社。

きれいごとかもしれませんが、そんな会社にしたいと思っています。

竹原和行

YouTube で求人広告を**動画配信**しました。

今年の2月から5月までの4か月間、配信してみました。

動画を最後まで視聴したら広告料が発生し、その広告料もひと月単位で金額をこちらで設定できます。設定した金額を超えそうになると動画配信がストップされます。

この動画を見終わると当社の求人サイトに誘導し、そこをクリックすると当社の詳しい求人案内画面になり、募集出来るようになっています。

『竹原運輸 動画』で検索すると求人動画を見ることが出来ます。

これは何回視聴しても無料なので、ご興味ある方はどうぞ。

先月から今月にかけて、**8**名の中途採用が出来ました。

これは**ハローワーク・社員の紹介**です。動画からの採用は1名です。

「働き方改革」による時代の要請に応える為、そしてお客様のあらゆるご要望に応えるために、**人材を厚く** ご用意しましてお客様のお役に立つべく日々研鑽を積んでおります。



社長 竹原正和

《ドライバーの健康管理》

事業用トラックの交通事故が減少傾向にある一方で、脳・心臓疾患や体調管理に起因する事故が増加傾向にあり、社会問題化して報道されている中で、一度発生させると必ず重大事故につながりますし、小さな事故であっても事故を発生させると必ず報道され起こした人、起こされた人共々に平穏であった生活が一瞬にして失墜してしまうのがこの事故だと思いません。悲惨な健康起因事故を未然に防ぎ、安全輸送を実現して行くためには、「健康であること」が一番重要であることは言うまでもないと思います。

社員が健康であってこそ毎日の安全運行が実現し可能になって来るものですし、会社も発展して行き、社員を守り抜いていけるものだと思います。

私達運送業に携わっている者の、社員、ドライバー共に健康づくりがここで大切になってくる必要があるのです。ひとたびドライバーが健康を害してしまうと業務に支障をきたしてしまうこととなります。ドライバーの健康があつてこそ会社が健全に経営が出来るものです。会社にとってドライバーの健康の確保が危険物輸送を多く担っている当社はいかに重要であるかいつも考えます。当社は、まずドライバーが出勤すると点呼場にある血圧計が設置してある場所で毎日測定をします。その結果は機械から記録用紙に最高血圧、最低血圧、脈拍が出表されますが、当社はその次に、用意してある別紙（血圧測定結果一覧表）に自分で記録し、自分の血圧の動きがヶ月を通じて一目で判る様にして自分の今日の状態を比較してもらうようにしております。少しでも大きい変化があると判断したらすぐ管理者に報告しその日の運行の良否の判断をしてもらうよう促しております。血圧計の前にマニュアルを掲示し、測定中に判る様にもしてあります。

次に喫煙対策ですが、数年前より開始して現在では事務所内ではすっかり定着しています。いいにくいですが、喫煙した者にとってはかつて喫煙していた立場から考えてみると煙草を吸う人も吸わない人もお互いに不満を感じずともなく仕事をしやすい環境にしていく事が大事であると思ってみますが（？）体に悪影響のあることは世界の人々が認めていることでもあり、まして社内で我々が決定したことであり、しっかりと厳守していく事が当然の義務であると思います。（元喫煙者談）

次に、健康診断ですが、当社はドライバーのみに限って年2回（6月、11月）の健診を義務化しております。その結果D2(要精密検査)所見のドライバーに対しては、産業医の医師からの的確なるアドバイスを得るよう指導しております。

又、メンタル面では、帰庫したとき、出庫する時には必ず事務所にて事務所内の人と対面を、TOPから部門長、社員までが顔を合わせますが、必ず顔色を窺いながら、御苦労さま、お疲れ様等々、声掛けをして社員同士が仲良く協力し合いながら仕事出来るように、疲れをほぐすように、風通しの良い会社になる様にコミュニケーションを取りながら、時に応じて健康に関する話題で声掛けし健康意識を高めてもおります。また相談しやすい雰囲気作りいろんな会話が出来るように我々の仕事はドライバーが健康な状態で業務に従事することが必要不可欠であるので、その意識を高くもって日々のドライバーの肌細かい指導をしっかりとして行きたいと思っています。



先日、「お茶会」に招かれお茶席でお茶をいただきました。初めてお招きいただいてから10年程経っていますが不作法なままで恥ずかしい限りです。受付で風呂敷の解き方から挨拶など何度やってもうまくいきません。(笑) そんな私に社中の先生方は「今年もようこそおいでくださいました。ありがとうございます。」といつも笑顔でお迎えてくださいます。

生け花を拝見し、香煎席で昆布茶とお寿司をいただいて、本席に招かれます。茶室にお邪魔すると床の間の掛け軸や一輪挿しや書などのお設えに茶主のお心遣いを感じ感動すると同時に感謝の気持ちが溢れてきます。茶主と後見人が茶室に入りお茶を丁寧に入れてくれます。季節柄、冷茶です。生菓子が見事な皿にのって廻ってきます。懐紙を手に取りお菓子をいただきます。正客が時事ネタやお設えを話題に後見人と談話します。二煎のお茶をいただき茶席は終わりです。

この数分の為に社中の皆様は日頃から厳しいお稽古を重ねて茶席に臨みます。試合の為に厳しい練習を積み重ねたスポーツ選手と似ていると思います。文化の違いはあっても口に入れる時はみんな同じです。人口とは人の口と書きます通り、口の数だけ人がいるということです。

お茶をいただき、お菓子を食べる。習慣的な行為だからこそ礼儀、作法が存在し文化として受け継がれるのだと思います。

初めて日本で人口調査を実施したのは明治5年で、3,480万人でした。大正元年には5,000万人、戦後で7,800万人、そして2010年の1億2,800万人をピークに減少を続けております。伴い女性活躍社会の到来、高齢者活躍社会の創造、外国人労働者の増加は多文化共生社会の創造へと様々な分野で大きな転換期を迎えたように思います。実感できる生活面では価格や機能、性能などの「モノ」性ではなく、そのモノから生まれる文化性、芸術性など自分の心、感性を満足させる「コト」性へ価値の転換が進んでいるように思われます。

「お茶会」は私にとって色んな分野の勉強であり、お招きいただけることに感謝を忘れず精進したいと思います。



池上則和

今年もビールの美味しい季節がやってまいりましたが、皆様お元気でしょうか？
日頃よりご愛顧いただき誠にありがとうございます。

最近、私が聞かなくなったと思う言葉に【大和撫子】という言葉があります。

【大和撫子】とは、日本人女性の美しさを撫子という植物の花に例えて、奥ゆかしさや内に秘めた強さを兼ね備えた女性を意味する日本で昔から使われている言葉です。具体的には、常に控えめで目立たず、自己主張は強くはないものの、基本的な教養を備え、かつ礼儀と気品（上品さ）があって、いざという時に男性を助けたり、家族を守ったりできる、しっかりとした女性の事を言います。

先日、そんな【大和撫子】という言葉思い出すような出来事がありましたので、ご紹介したいと思います。

いつもお世話になっている年上の知人が、市内の大きな病院に入院され、私がお見舞いに伺った時のことです。どこに（病棟、病室番号）入られているのかわからなかったのので、総合案内で確認したところ、「〇〇病棟の5階です。病室はそのナースステーション（NS）で聞いて下さい」との事でした。私はその病棟に行くためエレベーター（EV）ホールに移動し、EVを待っていると、向こうから一人の上品そうな小柄な女性が来られ、私を見て「〇〇の家内です。いつも主人がお世話になっております」と言って会釈をされたので、私は恐縮し挨拶させていただきました。奥さんは私を知らないはずですが、着ていた制服を見て、私がお見舞いに来たのだとわかったそうです。

一緒にEVで5階まで上がり、病室はNSで聞かなくても奥さんについて行けばいいと思っていたので、奥さんが前を歩いてくれるのを待っていたのですが、一向に前を歩いてもらえない気配がなかったので、「病室がわからないので先に行ってもらえますか」とお願いすると、彼女は「そうでしたか、ではすみませんが前を歩かせて頂きます」と言われました。私は「すみませんが、前を歩かせて頂きます」に、こんな事を言う人がいるんだ。なんて凄い人なんだろうと、大変感銘を受けました。

病室に伺い、知人と話している時も御主人を気遣いながら、横におられて優しく微笑んでいる姿も、控えめで、とても奥ゆかしく、まさにこういう女性を【大和撫子】と言うのだろうと思いました。昭和から平成、令和の時代となり、【大和撫子】という言葉は聞かなくなりましたが、いつまでも残っていてほしい言葉の一つですね！



©2023 大橋 哲夫

大橋 哲夫

いつも大変お世話になりありがとうございます。

先日、乗務員との雑談の中で「今年の5月と6月は暑かったし、梅雨が梅雨らしくないところが一昨年とよく似ているなあ。又、大雪でも降るのかな？」という話が出ていました。

私は去年の気温も先月の気温も記憶に無いですし、何も考えていませんでした。

常々何も考えずに生きている事は気付いていましたが、変化に疎い事も確認してしまいました。

今年の冬まで覚えていられれば、一つ賢くなれるかも知れませんが、すっかり忘れるような気がします。

私が毎年この時期に思い出して話せることと言えば・・・

「これから夏休みの時期になりますと夜通し出歩く若者を毎年見かけます。トラックは深夜にも運行することが多々ありますので、注意喚起して防げる事故があるかもしれない」という気持ちを伝え続けたいと思います。

辻川 伸吾

注意

7月に入り夏らしい天気になるかと思いましたが、気温もあまり上がらず過ごしやすい毎日ですね。晴れ間が少ないのがちょっと寂しいですが・・・

8月には晴れの日も期待したいものですね。

7月からといえば夏のレジャーシーズンや夏休み・お盆休みなど、休みが増えて車でどこかに出かける人も多いのではないかと思います。

そこで、出先で車のトラブルに遭わないようにするためにも点検しておくことが大事になってくるのではないかと思います。タイヤの空気圧は適正化か？エンジンをかけた時にかかり具合は悪くないか？バッテリーは弱ってないか？エンジンオイルは入っているか？エアコンの効き具合は悪くないか？ブレーキを踏んだ時やウインカーを出した時に球切れしていないか？走行中や停車時異音がないかどうか。

この様なところを点検するだけでも車のトラブルはだいぶ減ります。自分で分からない場合は、ガソリンスタンドやカー用品店でも点検してもらえますので、そういったものを活用していくといいかもしれません。

谷口 学



夏空がまぶしい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか
夏の風物詩と言えば、花火大会などがあります。そもそもは送り盆の時期に、魂の鎮魂のために打ち上げられたものだと言われています。

お盆は8月の15日が中心で、これをお盆の中日などと言う事もあります。
13日に先祖の霊が、迷わず当家に来られるように迎え火を焚く事から13日を迎え盆、
16日に先祖の霊を、送り出す為の送り火を焚く事から、16日を送り盆と言います。
お盆の時期に花火を打ち上げて霊を慰めていたのが、いつの間にか皆で楽しむイベントに。
結果としてお盆の時期を中心に、毎年各地で打ち上げ花火が多く上がる様になりました。
今年は石川県の能美郡川北町で2万発が打ち上げられる、北陸最大級の川北まつり北國大
花火川北大会を観に行こうと思います。



越 邦治

いつもお世話になっております。昨年は梅雨が明けるのが早かったですが、今年はまだ梅雨真っ只中です。何となく体がだるいような気がしていますが、年齢が原因かとも思っています。

さて、我が家に7月の初旬に15、16年ぶりに新しい冷蔵庫がやって来ました。下の子が小学生の頃真夏のとある日、家に帰ると冷凍庫のものがすべて解けており、いきなり壊れてしまいました。突然壊れ、真夏だったこともあり、新しい冷蔵庫が来るまでに少し時間がかかり、しばらくクーラーBOXにて生活していたことを思い出しました。

今回は、完全に壊れてはいませんが、数年前から大きな音がしており、製氷機も壊れていて使用していません。最近では冷蔵庫の中の物、野菜も凍ってしまう時があり、ヨーグルトがフローズンヨーグルトに変身してしまう事もありました。

そこで、完全に壊れる前に新しい冷蔵庫を購入しました。今までのより横幅は小さくなりましたが、容量は大きくなり、交換前に冷蔵庫の中を綺麗したので新しい冷蔵庫の中には何にも入ってませ〜ん。少しは電気料金が安くなるのではと思って楽しみにしています。これから暑くなって来ますので体調には十分気をつけて下さいね。

吉川 佳代



いつもお世話になりありがとうございます。夏がやって来ますね～！！休みもやって来ますね笑笑。いつも学校に置きっぱなしにしてある荷物（内・外の運動靴・リコーダー・裁縫セット等々）を家にもって帰ってきますね～。また家の中が物でいっぱいになってしまう……。夏休みが始まるといつも思います。

そしてたくさんの宿題……。しかし、今年の子供たちはいつもと違います。どうも今年は7月中に宿題を全部終わらせるつもりみたいです。「宿題は？」と声をかけなくてもよさそうです。

そして「今年は海に行けるんやろ？」と早くから言われ（去年は受験生がいたため遊びに行けなかったので）「俺、潜りたいからシュノーケル買って！」と言われていました。

夏休みの楽しい思い出をたくさん作ってあげるために今年も母はがんばります！！



水谷 有基
次回もお楽しみに……